

台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

平時に
確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、
自宅の災害リスクととるべき行動を
確認しましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？ 必ず取組みましょう

ハザードマップ*で自分の家がどこにあるか
確認し、印をつけてみましょう。

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの
高い区域を着色した地図です。着色されていないところ
でも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土
地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村
からの避難情報を参考に必要に応じて避難して
ください。

はい

災害の危険があるので、原則として*、
自宅の外に避難が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまう
おそれの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧
などの備えが十分にある場合は自宅に留まり
安全確保をすることも可能です。
※土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマン
ション等の上層階に住んでいる場合は自宅に
留まり安全確保をすることも可能です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間
がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚
や知人はいますか？

はい

警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知
人宅に避難しまし
ょう(日頃から相談し
ておきましょう)

いいえ

警戒レベル3が出たら、市区町村が指定
している指定緊急避
難場所に避難しま
しょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚
や知人はいますか？

はい

警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知
人宅に避難しまし
ょう(日頃から相談し
ておきましょう)

いいえ

警戒レベル4が出たら、市区町村が指定
している指定緊急避
難場所に避難しま
しょう

「令和元年台風第19号等による避難に関するワーキンググループ」（内閣府ホームページ）から一部修正して作成

新型コロナウイルスの感染リスクをふまえ

災害から命を守る

平成16年8月台風16号による被害（牛窓町地内）

平成2年9月台風19号による被害（邑久町地内）

新型コロナウイルス感染症については、全国で自治体の緊急事態宣言が解除されましたが、今後も引き続き警戒が
必要です。また、このような状況下において台風や地震が発生すること考えられます。

災害から命を守るための行動として、早めの避難が必要ですが、避難所では災害の規模によって3密（密閉・密集・
密接）状態になることが予想され、感染リスクも高まります。自然の驚異から命を守るのと同時に、感染を防ぐこと
も必要になります。平時から事前の準備、災害時の対応などを確認しておきましょう。

今のうちに、自宅が安全かどうかを確認しましょう



避難とは「難」を「避」けること

自宅での安全確保が可能な人は、感染リスクを負ってまで避難場所に行く必要はありません。

【やるべきことは…】

- 防災ハザードマップ（令和2年3月瀬戸内市作成）で自宅が安全かどうか確認
- どのような災害の危険性があるか確認（地震、津波、洪水、土砂災害）
- とるべき避難行動を確認
- 正しい防災情報を入手して、早めに適切な避難行動をとる

※避難先は、市が指定している指定緊急避難場所・指定避難所ではありません。
安全な親戚や知人宅などに避難することも検討してください。
※感染の拡大を防止するため、事前に避難所への避難が必要かどうか確認し、
本当に避難所に行く必要がある人を適切に受け入れられるようにご協力ください。



防災情報の入手方法

テレビ

- データ放送（NHK）



携帯電話・スマートフォン

- 緊急速報メール（エリアメール）
対応する携帯電話やスマートフォンへ特定
エリアごとの一斉配信（登録不要）

インターネット
(パソコン・スマートフォン)

- おかやま防災ポータル
- 市ホームページ



おかやま防災ポータル



市ホームページ

- 市メールマガジン
登録者に配信



メルマガ登録は
こちらから

- Yahoo! 防災速報アプリ
ヤフー株式会社との協定により、市からの
緊急情報を配信



ios 版



Android 版

防災放送

- 屋外放送塔や戸別受信機で放送

指定避難所における市の感染拡大防止対策

3密（密閉・密集・密接）の回避

- 多くの部屋を活用してスペースを確保
- 避難者のスペースの間に1～2m以上の通路を確保
- 避難者ごとに仕切りを設け、飛沫感染を防止
- 災害の規模によって多くの避難所を開設
- 定期的な換気を実施

衛生環境の確保

- アルコール消毒液の設置（避難所出入口、トイレ周辺など）
- 定期的な清掃の徹底

健康管理

- 避難所受け入れ時に、発熱や体調などを確認
- 発熱者などのためのスペースを確保



避難所での過ごし方のポイント

- こまめに手洗い・アルコール消毒をしましょう
断水またはせっけん、アルコール消毒液のいずれかがない場合には、その時にあるものでできるだけのことを行う。
- 常にマスクを着用し、咳エチケットを守りましょう
- 汚れた手で、無意識に目・鼻・口を触らないようにしましょう
- 身の回りの整理整頓、掃除に努めて、清潔を保ちましょう
- 食器や洗面用具、タオルを他の人と共有しないようにしましょう



『「新型コロナウイルス避難生活お役立ちサポートブック」
認定 NPO 法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）避難生活改善に関する専門委員会』を参考に作成

大きな災害になればなるほど、市の対応（公助）には限界があります。
市の取り組みと合わせて、皆さん自身の事前準備と災害時の対応



災害の危険性や避難の時に必要なものなどについて
家族みんなで話し合しましょう

問 危機管理課 ☎ 0869-22-3904

避難情報（警戒レベル）

災害発生の危険度ととるべき避難行動を、住民が直感的に理解できるよう防災情報を5段階の警戒レベルを用いて伝えています。

警戒レベル (洪水・土砂災害)	住民がとるべき避難行動等	住民を促す情報	
警戒レベル 5	命を守る最善の行動	災害発生情報 (可能な範囲で発令)	高い 危険度 ↑
警戒レベル 4	危険な場所から 全員避難	避難指示（緊急）※ 避難勧告	
警戒レベル 3	危険な場所から 高齢者等は避難 他の住民は準備	避難準備・ 高齢者等避難開始	
警戒レベル 2	避難行動の確認	注意報 (気象庁発表)	
警戒レベル 1	心構えを高める	早期注意情報 (気象庁発表)	

- ・【警戒レベル5】では、すでに災害が発生しています。
- ・【警戒レベル3】や【警戒レベル4】が出た場合、地域の皆さんで声を掛け合って、安全・確実に避難しましょう。
- ※避難指示（緊急）とは、地域の状況に応じて緊急的または重ねて避難を促す場合などに発令するものです。



避難が必要な場合に持っていくもの、 避難生活に必要なものを事前に準備しましょう



市の備蓄品だけでは足りません

避難の際は、水や食料に加え、自分の必要なものは可能な限り自分で持参するようにしてください。
また、風水害や地震などで被害を受けた場合でも、避難所へは行かず、自宅の使える部分で生活することも考えられます。いざという時に備えて、3日以上分の備蓄をしましょう。

避難する時に持っていくもの (感染拡大防止のためのもの)

- マスク
- 体温計
- アルコール消毒液
- ウェットティッシュ
- タオル
- ペーパータオル
- スリッパ など



備蓄しておくもの（3日分）

- 食品
- 水（飲料水は1人1日3ℓを目安に）
- 燃料、工具類
カセットコンロ、ガスボンベ、固形燃料など
- 生活用品
トイレットペーパー、ビニール袋、キッチン用ラップ、鍋、バケツ、ブルーシートなど

